学校番号	1008

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)現代文	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「精選 論理国語」（数研出版） 「文学国語」（大修館書店）						
副教材等	「入試漢字　コア２８００」（桐原出版） 「イラストとネットワーキングで覚える 現代文単語 げんたん 改訂版」（いいずな書店） 「改訂版　プレミアムカラー国語便覧」（数研出版） 「完成 日本文学史ノート 三訂増補版」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・多くの文章を通して、「読む能力」と「書く能力」をしっかりと身につけ、それらを活用して著者の考えを理解し、自身の考えを他者に上手に伝える力を身につけてください。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まで丁寧に取り組みましょう。
・授業中のノートについては、板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気づいたこと、クラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解し効果的に表現する資質・ 能力を 次のとおり育むことをめざす。
【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な漢字や語句を豊かにし、その意味を理解し適切に使っている。	他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、他者の意見に耳を傾け、協働することができる。	言葉を通じて、積極的に他者と関わったり思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値を理解し、言葉を効果的に使うことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	・「無意識のバイアス」の内容を理解し、筆者が述べる問題点を踏まえたうえで、具体例をあげて論述する。 ［教材］ 異文化と普遍/学問の政治性	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c：文章の内容から読み取れる筆者の意図について粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート （ノート） 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認
	・「新しい普遍性」という表現に込められた筆者の意図を読み取り、自分の生活と関連づけて考察する。 ［教材］ 異文化と普遍/「文化が違う」とは何を意味するのか？	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[書]：「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート （ノート） 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認
二学期	・明治という時代背景・舞台設定の意味を考える。 ・登場人物の境遇と心情を理解する ［教材］ 時代と表現/舞姫	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 c：文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	ワークシート （ノート） 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認
	・情報を発信・受信するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、その有効性や問題点を話し合う。 ［教材］ 情報と知性/メディアのテロル	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c：筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に適切な実例を考え、学習課題に沿って話し合おうとしている。	ワークシート （ノート） 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認
	・筆者の主張を踏まえて、「生命らしい知性」とは何か考察する。 ［教材］ 情報と知性/生命の知性	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[書]：「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。 c:筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に適切な実例を考え、学習課題に沿って話し合おうとしている。	ワークシート （ノート） 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認

三学期	・日本文化についての感性豊かな言語表現を読み取る。 ・日本の伝統的な価値観やその変化について考える。 ［教材］ 文化と伝統/陰翳礼讃	a:文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:登場人物の境遇や、それぞれの人物関係を押さえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	ワークシート (ノート) 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認
	・労働を「アイデンティティを承認されるための必須条件」とする筆者の主張を具体的に理解する。 ［教材］ 考えの表出/人はなぜ働かなくてはならないのか	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[書]:「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。 c:課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	ワークシート (ノート) 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート ノート 振り返りシート 行動の確認

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　）時間

・書くこと　…　（　　３０　）時間

・読むこと　…　（　　４０　）時間